事例No.	1898
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	北海道広尾町

事例区分	公営企業

タグ	・病院事業 ・組織改革 ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	地独法化

事例内容・タイトル

町立病院の地方独立行政法人化

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【北海道広尾町】
町立病院の地方独立行政法人化

地独法化 **病院事業**

北海道広尾郡広尾町総務課

● 取組の概要

悪化する経営状況を改善するため、地方独立行政法人に移行した。

◆総事業費　準備業務委託料3,780千円、不動産鑑定委託料1,378千円
報酬52千円、 旅費11千円

◆背景

- 人口減少や医療ニーズの変化により収支が悪化し、累積赤字を計上していた。
- 経営改善のため、病院のあり方について検討することとした。

◆具体的内容

- 町が設置した有識者によるあり方検討委員会からの答申をもとに検討し、地方独立行政法人への移行を決定した。
- 地方独立行政法人への移行にあたり、社会医療法人北斗と連携し、民間の病院経営手法を取り入れた。
- 地域の医療ニーズにあわせ、診療科を見直した。

◆効果

- 外来患者数の増加により、増収となった。
  （令和3年実績対平成30年（独法移行前）98,183千円）
- 入院患者数の増加及び入院基本料の施設基準の見直しにより、増収となった。
  （令和3年実績対平成30年（独法移行前）47,405千円）
- 社会医療法人北斗と医薬品等の共同購入を実施し、材料費を削減した。
  （令和3年実績対平成30年（独法移行前）10,288千円）

● 取組のポイント

- あり方検討委員会においては、経営改善の最善策は「無床診療所化」である旨の答申がなされたが、町内唯一の入院病床を持つ医療機能を維持するべく、地方独立行政法人化して経営改善を図ることとなった。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　6,357人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　596.54km^2（令和4年1月1日時点）
- 許可病床　48床（令和3年度決算）

経営形態のイメージ



● 取組のスケジュール

- 平成30年1月　あり方検討委員会を設置
- 平成30年4月　地方独立行政法人移行を表明
- 平成30年6月　定款、評価委員会条例を議決
- 平成30年7月　評価委員会を設置
- 平成30年12月　中期目標を議決
- 平成31年4月　中期計画議決、地方独立行政法人移行

● 今後の展望

- 引き続き医療スタッフの確保に努め、住民ニーズにあった診療体制の充実を目指す。